

(5) 総合評価シート(様式)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和3年度)

施設名	吹田市立千里山竹園児童センター	所管部室課名	児童部子育て政策室
所在地	吹田市千里山竹園2丁目1番5号	設置年月日	平成21年10月

1 施設の概要

(1)設置目的	次代を担う子どもたちが、「遊び」を通じて創造性や社会性、協調性を身につけ豊かな人間関係を育むことを目的とする。		
(2)規模、開館日等	【規模】 (構造) 鉄筋コンクリート造2階建 (敷地面積) 969.07㎡ (建築面積) 343.12㎡ (床面積) 1階 319.32㎡ 2階 206.20㎡	【開館日等】 (開館日) 毎日開館(5/3～5/5及び 年末年始を除く) (開館時間) 4～9月 10時～18時 10～3月 9時30分～17時30分	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	吹田市立千里山竹園児童センター管理運営協議会					
(2)指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	1 子どもの健全育成及び地域の子育て家庭への支援に関する業務 2 施設の管理運営に関する業務 3 施設の維持管理に関する業務 4 経営管理に関する業務 5 その他					
(5)指定管理者の収支		令和2年度		令和3年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	委託料又は利用料金(円)	25,950,000	25,950,000	25,890,000	25,890,000
		自主事業収入(円)	0	0	0	0
		その他(円)	0	0	0	0
	支出	管理経費(円)	25,950,000	25,950,000	25,890,000	25,890,000
		自主事業(円)	0	0	0	0
		その他(円)	0	0	0	0
収支差額(円)	0	0	0	0		

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和2年度		令和3年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	メイン行事参加者数(人)	-	92	-	204
2	センターまつり参加者数(人)	-	未実施	-	未実施
3	幼児教室参加者数(人)	-	415	-	627
4	月間・週間行事参加者数(人)	-	1,879	-	2,066
5	年間来館者数(人)	-	7,037	-	8,752
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	ご意見箱「あなたの声を聞かせてね」の設置 ・利用者アンケートの実施(実施期間:令和3年10月12日～令和3年11月14日/回答者数:児童向け42名/大人向け41名)
(2)把握結果	主な意見として、次のものがあつた。 ・新規貸出図書のリクエスト ・ドッジボール、大縄跳びをしたい。 ・小学生のなかまあそび 曜日毎の遊びの内容を1か月に1回変えて欲しい。
(3)結果を受けての対応状況	・新規図書の購入時にリクエストを反映させた。 ・具体的な要望内容について、「こども会議」や日頃の活動の中で、更にきめ細やかなヒアリングを行っていく。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	1 管理運営の方針については、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 2 平等利用の確保については、利用者の公平性が確保されていた。 3 個人情報の保護については、制定している「個人情報取扱規程」及び「特定個人情報等取扱規程」や吹田市個人情報保護条例を遵守することにより個人情報の保護の徹底に努めていた。
(2)施設の効用の発揮	前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた事業計画どおり実施ができない行事等がある中で、感染拡大対策を講じながら、利用者のニーズに合致した事業を実施している。また、地域の諸団体・住民の協力を得てサービス向上に努めた運営をしていることから、利用者の満足度が高くなっていた。 施設内安全対策においては、職員会議や日々の業務の中で注意喚起を図る等、周知が徹底されていた。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	館長、主任児童厚生員、児童厚生員を配置し、安定した人員体制となっていた。また、事務処理を適切に行うために事務員を配置していた。また、各役職において適切な役割分担がされていた。 児童センターの職員だけでなく、運営委員や多くの地域のボランティアの協力を得て、児童センターの運営に取り組んでいた。
(4)施設の管理経費の縮減	管理運営協議会役員をはじめ、多くの地域のボランティアの協力により管理経費が縮減がされていた。また、地域に居住する者を職員として採用することにより、通勤費が不要となり、人件費が縮減されていた。 前年度に続き、館内の蛍光灯の間引き、使用していない部屋についてのこまめな消灯や印刷物の裏紙利用など経費削減に積極的に取り組んでいた。
(5)地域人材の活用	地域に居住する方の中から、保育士や教員の有資格者を児童厚生員及び事務処理を適切に行うための事務員を採用しており、地域の人材活用を図っている。
(6)総合評価	児童センターの管理運営体制、管理運営内容共に年度協定書等を遵守していることを確認し、改善を要する指摘事項は見当たらなかった。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、行事や催し内容及び人数制限等の制約を大きく受ける中、安心して利用できる施設として様々な工夫、努力を行っていることが、高い利用者満足度に繋がっているものである。また、指定管理者の健全な財務状況が確認できたことから、継続して安定的な施設運営が可能と判断する。